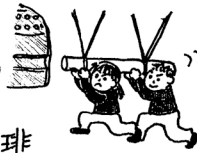


ゆく年くる年... ゴーン



荒田珈琲
新聞
Vol.19
2020.12.25(金)

時は2019年12月29日、年の瀬の青葉台。後に荒田珈琲となるテナトを内見あるべく、店主とヨメは桜台ビレジにいました。

もう少し時間を遡った12月23日。飲食店専門の物件情報で、ヨメは気になるテナトを見つけました。開業あるのがいつになるかは未定でも、良さそうな物件はチェックすれば勉強になりますし、行ってみなければ始まりません。内見の約束を取り付けたものの、店主もヨメも仕事でへ行ける日が限られていましたから、他の人に決まってしまうは「縁」がなかったと思うことになりました。 ○○○○○ !! 善は急げ!!

そして迎えた29日。店内は 図面や写真を見た以上に広く、馬尺から少し奮っている分落ち着いて、桜台ビレジも趣きがあり素敵です。ただ、一つ大きな問題がありました。不動産の契約上、年内に借り手が見つからなければ年明けすぐに原状回復するというのです。

「**エッ!**年内って!? この時点であと2日しかありません。緊急めおと会議が行われました。条件はマツチしている。でも他を全然見てないし、何といっても急ぎすぎる。決めるとしたら今の仕事はどうする? 等々...。時間がないうち、店主が悩んで出した結論は「ここでやろうか」でした。30日、晦日のことず。 めおと会議には甘味がないと。

珈琲店でのキャリアは長いにおうと独立しなかつた店主は、ヨメから見ると仕事に実直な職人気質。石橋を叩いて叩いて結局渡らないこともある慎重な性格。だからこそ、それは大きな決断で、挑戦ある腹を括ったのだと分かりました。思いはかりました。こうなったら、同じ舟に乗っているヨメは全かぞ応援あるしかありません。やると決めたからには、私たちがいいお店を作りましょう。一人じゃないぞ、本気を出したらヨメは怖いぞ。

31日、大晦日。年越しそばを啜りながら聞いた除夜の鐘は、それまでと少し違って胸に響きました。この2ヶ月後、2020年の3月1日に荒田珈琲は閉店します。あとは、皆さまご存知の通りです。 年越しはエビ太のせり

「新しい一年はどんな年になるんだろう...?」あのかの自分たちに、いま培えるならば、色々ありましたが、総じてとても素晴らしい一年だったと伝えたいです。今年の大晦日はお店の大掃除をしてから、店主と卓一杯あるのが楽しみです。珈琲でね! めでたゝめたゝ

この新聞を手にとらせてくださる皆さまへ...

本年は本当にお世話になりました!
来る2021年も、店主とヨメの二人三脚で荒田珈琲を作ってまいりますので、是非お越しくたされば嬉しいです。
どうぞよろしくお願いいたします!

新年は1/4~営業です。
皆さま、健康で明るい
良い年をお迎えください!